平成25年伯耆町区長協議会12月定例会　議事

1. 平成25年伯耆町区長協議会事業実績（見込み）及び収支決算（見込み）について

（1）　平成25年伯耆町区長協議会事業実績（見込み）について

1）　定例会の開催

区分	日時・場所	内　容	備　考
1月 定例会	日時　2月15日（金） 10:30～11:40 場所　伯耆町農村環境改善センター　多目的ホール	平成24事業実績報告 平成24年収支決算報告 平成25年役員の選出	開会前、伯耆町定例表彰式を開催
4月 定例会	日時　4月26日（金） 14:00～16:10 場所　伯耆町農村環境改善センター　多目的ホール	平成25年事業計画 平成25年収支予算	
12月 定例会	日時　12月6日（金） 15:00～ 場所　伯耆町農村環境改善センター　多目的ホール	平成25年事業実績（見込み） 平成25年収支決算（見込み） 伯耆町地域自治活動交付金の算定方法	第一部として、まちづくり講演会を開催

2）　役員会の開催

	日時・場所	内　容
第1回	日時　2月15日（金） 11:40～11:55 場所　伯耆町農村環境改善センター　多目的ホール	会長、副会長、委員の選任
第2回	日時　4月11日（木） 15:00～16:35 場所　本庁舎2階　応接室	【協議】 平成25年事業計画について 平成25年収支予算について 環境美化活動事業の実施について 町の事業について
第3回	日時　5月30日（木） 13:00～15:00 場所　岸本保健福祉センター	【協議】 先進地視察研修の実施について 防災活動事業の実施について 地域自治活動交付金の算定方法について

第4回	日時　8月2日（金） 14:00～16:00 場所　本庁舎2階　応接室	【報告】 環境美化活動事業の実施結果について 先進地視察研修の実施結果について 【協議】 防災活動事業の実施について 地域自治活動交付金の算定方法について
第5回	日時　10月21日（月） 14:00～15:40 場所　本庁舎2階　応接室	【報告】 防災活動事業の実施結果について 【協議】 来年度の事業日程について 12月定例会の日程と内容について 地域自治活動交付金の算定方法について

3）　環境美化活動事業

①実施日時　　平成２５年５月１２日（日）　午前７時～９時

②各集落の実施状況

地区名	実施集落数（前年）	参加人数（前年）
八郷地区	１４集落中　１１集落 （１４集落中　１２集落）	２７２名 （３０２名）
大幡地区	１２集落中　１１集落 （１２集落中　９集落）	４９１名 （４４４名）
幡郷地区	１０集落中　１０集落 （１０集落中　１０集落）	７８７名 （７５２名）
二部地区	１６集落中　１６集落 （１６集落中　１６集落）	２３４名 （２７２名）
溝口地区	３０集落中　２３集落 （３０集落中　２５集落）	６５９名 （６９１名）
日光地区	９集落中　５集落 （９集落中　８集落）	８５名 （１７３名）
合計	９１集落中　７６集落 （９１集落中　８０集落）	２，５２８名 （２，６３４名）

※事業の趣旨にご賛同いただき、集落の都合上５月１２日以外に実施された集落の実績も記載。

4） 防災活動事業

①実施日時　　平成２５年９月２９日（日）　８：００～
②各集落の実施状況

地区名	実施集落数（前年）	参加人数（前年）
八郷地区	１４集落中　５集落 （１４集落中　６集落）	２０９名 （２７６名）
大幡地区	１２集落中　１１集落 （１２集落中　９集落）	７１３名 （６２８名）
幡郷地区	１０集落中　９集落 （１０集落中　８集落）	７３１名 （６５０名）
二部地区	１６集落中　１１集落 （１６集落中　９集落）	３６６名 （３６７名）
溝口地区	３０集落中　２３集落 （３０集落中　２３集落）	９３６名 （８６０名）
日光地区	９集落中　５集落 （９集落中　５集落）	１５５名 （２０９名）
合計	９１集落中　６４集落 （９１集落中　６０集落）	３，１１０名 （２，９９０名）

【鳥取県自主防災組織等知事表彰を受賞】

日時　9月8日(日)10:30～
会場　鳥取駅前バードハット
(とっとり防災フェスタ2013)

5）研修事業

Ⅰ　先進地視察研修

①実施日　　平成２５年７月９日（火）　８：４０～１６：１０
②テーマ　　住民主導のまちづくり
③視察先　　島根県出雲市平田町　木綿街道振興会
④参加者　　３１名（区長１９名、荘連合区長１名、区長以外７名、
　　二部地区活性化推進機構４名）

Ⅱ　まちづくり講演会

①実施日　　平成２５年１２月６日（金）１３：３０～１４：４５
②テーマ　　身近なまちづくりの活動を知る
③講　師　　日野町の若手農業集団
　　楽園　園長　髙田　昭徳　氏
④演　題　　「　　」（未定）
⑤参加者　　名

6）会員相互の親睦事業（懇親会）

①実施日　　平成25年4月26日（金）
②場　所　　ビアホフ・ガンバリウス
③参加者　　37名（区長21名、町16名）

（2）平成25年伯耆町区長協議会収支決算（見込み）について

1）収入の部　　（単位：円）

科目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘要
町交付金	200,000	200,000	0	伯耆町区長協議会活動支援事業交付金
会費	120,000	120,262	262	地域自治活動交付金の1%
諸収入	1,000	595	△ 405	預金利息等
前年度繰越金	0	0	0	
計	321,000	320,857	△ 143	

2）支出の部　　（単位：円）

科目		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘要
役員会費		67,200	67,200	0	役員会出席報償費 2,400円×6人×4回＝57,600円 会計監査出席報償費 2,400円×4人×1回＝9,600円
事業費		196,600	120,531	△ 76,069	
	環境美化活動	67,200	58,972	△ 8,228	役員巡回報償費 2,400円×3人×1回＝7,200円 ゴミ袋購入費51,772円
	防災活動	2,400	6,757	4,357	知事表彰授賞式費用弁償 2,400円×1人×1回＝2,400円 役員巡回報償費 2,400円×1人×1回＝2,400円 チラシ用紙1,957円
	研修	87,000	33,802	△ 53,198	①先進地視察研修 視察料500円×35人＝17,500円 道路使用料　0円 保険料68円×32人＝2,176円 おみやげ　3,150円 写真用紙代976円 ②まちづくり講演会 講師謝金　10,000円
	会員相互の親睦	40,000	21,000	△ 19,000	助成金1,000円×21人＝21,000円
事務局費		33,000	23,179	△ 9,821	消耗品費10,815円 通信運搬費4,630円 封筒7,230円　ゴム印504円
予備費		24,200	0	△ 24,200	
計		321,000	210,910	△ 110,090	

収入合計	320,857
支出合計	210,910
差引	109,947 ・・・町に返還

2. 平成26年伯耆町区長協議会の事業実施予定日について

（1）環境美化活動事業・・・例年6月第三日曜日

実施予定日　平成26年6月15日（日）7:00～9:00

（2）防災活動事業・・・例年9月最終日曜日

実施予定日　平成26年9月28日（日）8:00～

（3）区長協議会1月定例会

実施予定日　平成26年1月28日（火）10:30～

会　場　農村環境改善センター　多目的ホール

（伯耆町定例表彰式が9時30分から、同会場で開催され、
終了次第区長協議会定例会を開催する予定です。）

3. 伯耆町地域自治活動交付金の算定方法について

【アンケート結果】

①回収数　59／91

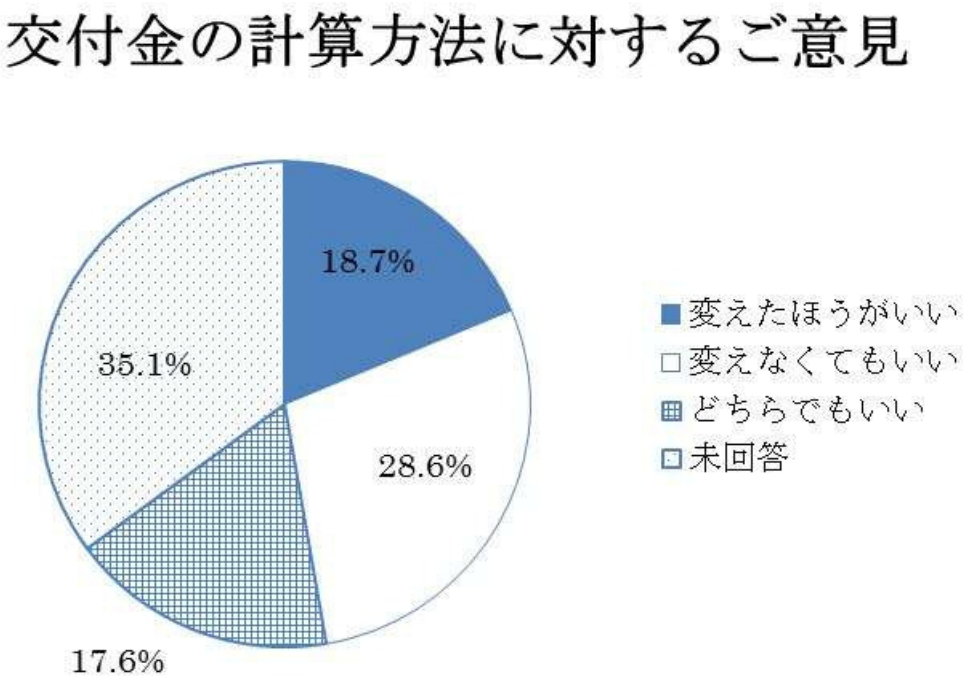
②回収率　64. 8%

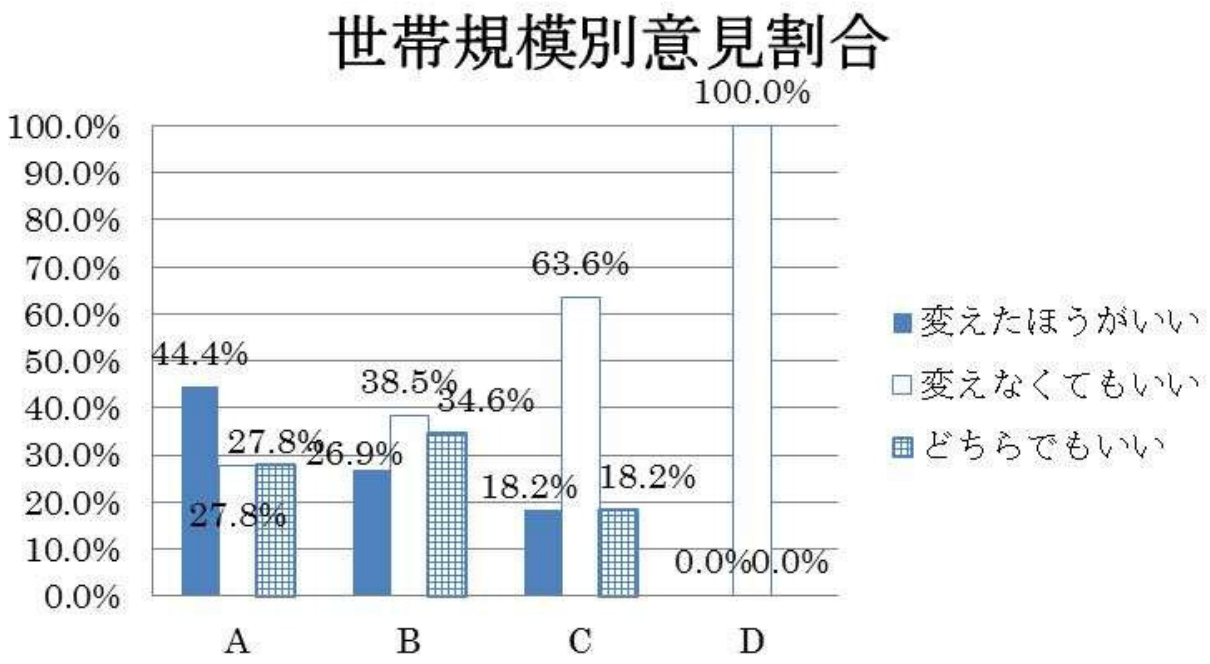
③世帯数段階別の回収数と回収率

A（20世帯未満の集落）	18／33	54. 5%
B（20世帯以上50世帯未満の集落）	26／39	66. 7%
C（50世帯以上100世帯未満の集落）	11／14	78. 6%
D（100世帯以上の集落）	4／5	80. 0%

④アンケート内容　別紙（　P）のとおり

⑤アンケート結果





Ｑ２で「変えたほうがいい」を選ばれた方のご意見

1	均等割＋世帯割
2	平成20年度の交付金計算方法
3	小集落でも集落機能を維持するためには、ある程度の財源は必要と思う。平均割を追加する。（段階別に）例　20世帯まで〇万円、20～50世帯〇万円、50～100世帯〇万円、100世帯以上〇万円
4	利用方法別のアンケートでは7割が手当として使われている。昔からの流れで各集落ごとに使われ方は違うが、手当としての感覚が抜けない。そこで、自治活動交付金と名前を変えた時のように名前をかえたらいいいと思います。（例）集落活性化事業並びに自治活動交付金。そして、使用方法も集落の活性化事業に半分以上使うこととし、半分は区長手当でも役員さんの手当でもいい。 1集落当たりの平均戸数が全町で34戸、岸本地区は51戸、溝口地区は22戸とバイ以上の開きがあり、均等割りの1割、5割でも不平等感がある。理屈抜きで、大きな集落の今の配分額を減らして、60戸までは今の配分額をアップする。そしてアップ率は10%以内とする。
5	計算方式は可とする。

6	町より示された今回の検討事案について、1）一定額（一律）の確保の必要　2）現在の交付金の基準（参考）に103万円以下（53戸）、30万円以下（31戸）、70万円以下（7戸）集落数の多いほうから基準上げはどうか。
7	交付金の全体像が見えていませんので、この方法が良いとは、難しいのですが、別紙資料の H20年度を見て考えます所は、均等割りを1割→〇割かにアップする方法が良いのではと思っています。全予算額が不動なら、大きい集落と小集落とのうばいあいは避けたいものですが・・・。
8	均等割方法
9	年々世帯数が減少してゆく上に、独居老人比率が高くなり、事業を行なう一人あたりの負担が増えてきた。基本的に1世帯 3650 円を軸として、高齢者、独居老人割のような補助金を割り増ししたほうが良いと思われる。
10	世帯数の少ない集落でも、同じ事業をしている。区長として出席は同じ何も同じ。均等割りがあってもよい。
11	世帯数の少ない集落でも、世帯数の多い集落と同じ事業をしている部分もある。（例えば区長として、又、役員として同じように出席参加している等）従って、「均等割」についても算入を望みます。
12	各集落一律金額＋自治会世帯数　検討願います。
13	均等割と世帯割　　割合については今後の検討課題とする。
14	均等割・世帯割の比率を見直しする。1：9では実態を反映していないのでは？再度一集落ごとに一定の労力が必要な事業と、世帯数に比例して労力の必要な事業の割合を精査しては？
15	小さな集落にも、最低年間5万円くらいは交付できるようにするべき。
16	地域割＋世帯割
17	均等割が4割、5割のときもあった。2割程度の均等割りを望む。
18	合併後の交付金計算方法に戻してみてはいかがなものか。（岸本地域各5割方法）

【区長協議会役員会からの提案】

平成２６年度から交付金の計算方法を、現在の全額世帯割から、１割を均等割、残り９割を世帯割に変更するよう、町に要望する。

提案理由

集落の大小に関わらず、集落には一定の共通した事務事業があるため、均等割を１割としたい。

まず、均等割１割でやってみて、その後変更の必要がある場合は、その都度区長協議会及び区長協議会役員会等で検討し、区長協議会の意見として町に要望することとする。